

阪神・淡路大震災30年事業

「巨大地震・津波に備える」シンポジウムの開催

南海トラフ地震など、巨大地震や津波に備えることは喫緊の課題であることから、阪神・淡路大震災から30年を契機に、事前防災対策の重要性の周知や地震・津波に対する防災意識の向上を図るため、シンポジウムを開催する。

1 日時 令和6年10月14日（月・祝）13:30～16:30（受付 13:00～）

2 会場 淡路夢舞台国際会議場 2階メインホール
（住所：淡路市夢舞台1番地）

3 内容 基調講演、防災学習の発表、パネルディスカッション
（上記のほか、会場内に防災インフラ施設整備等を紹介するパネル展示、
休憩時間に南あわじ市の防災教育の一環である防災ジュニアリーダーの紹介実施）
※内容の詳細は次ページを参照

4 定員 会場：200人（事前申込必要・参加費無料）
オンライン：なし（事前申込不要）

5 主催 実行委員会
〔兵庫県・公益財団法人兵庫県まちづくり技術センター〕

6 共催 洲本市、南あわじ市、淡路市



淡路夢舞台国際会議場



7 プログラム

注) タイトル、内容、時間は変更となる場合あり

13:30 **開会挨拶** 主催者代表

13:40 **基調講演『南海トラフ地震に備える』**

森 信人 教授 (京都大学防災研究所)

過去の巨大地震・津波による被災状況を振り返り、『巨大地震・津波への備え』について考えます。

14:35 **防災学習の発表『巨大地震・津波への備え』**

兵庫県立舞子高等学校 環境防災科の生徒

日頃の授業やボランティア活動から学んだ巨大地震・津波への備えについて発表します。

(舞台転換 (休憩時間) 南あわじ市の防災教育の一環である防災ジュニアリーダー紹介)

15:10 **『パネルディスカッションで知る、これからの地震・津波対策』**

コーディネーター：森 信人 教授 (京都大学防災研究所)

パネリスト：阪本 真由美 教授 (兵庫県立大学大学院) : 過去の災害の振り返り、避難行動の備えなど

菅原 茂 市長 (気仙沼市) : 東日本大震災の教訓、震災伝承の責務など

高橋 伸輔 企画部長 (近畿地方整備局) : 能登半島地震での対応、南海トラフ地震への備えなど

上原 泉 次長補 (南あわじ市学校教育課) : 防災教育を通じた人材育成、社会参画の場づくりなど

新井田 浩 技監 (兵庫県) : 南海トラフ地震の被害想定、兵庫県の津波対策の取組みなど

16:30 閉会

8 申込み（会場での参加を希望する場合）

（1）受付期間

令和6年8月27日（火）15:00～令和6年9月30日（月）
（受付人数200人に到達した時点で終了）

（2）申込方法

Web申込み

URL : <https://web.pref.hyogo.lg.jp/ks04/event/r6tsunamishinpojiumu.html>

（3）その他

オンライン視聴の場合は事前申込は不要
視聴のためのURLは上記URLでご案内



皆様のご参加をお待ちしています！